

伝統知識と技術の再活性化によるアフリカの 草の根的開発(Grass Root Development)と環境保護

名古屋大学文学研究科

背景

先進国の価値観・技術・知識にのみ依拠した開発・援助政策がひきおこす問題
開発・援助の持続不可能性。

様々な社会的経済的格差と紛争、モラル崩壊

- ・援助が集中する首都とその周辺地帯 / 地方(その多くは地理的に孤立)
- ・援助を享受する為政者とその出身地域や部族 / そうでない地域や部族
- ・少数の学歴エリート / 教育なき一般民衆(特に女性、老人)

環境汚染 地域住民ぬきですすめられる開発・援助は、環境汚染をひきおこす



原野の生活

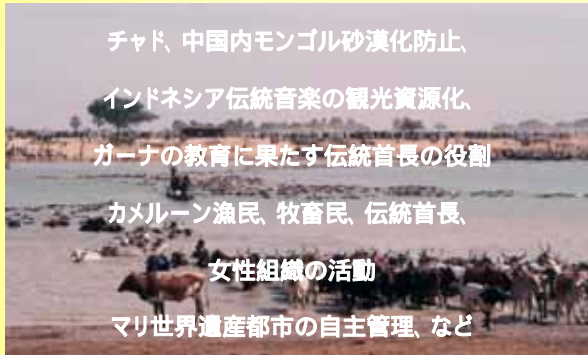
目的

現地の知恵と技術を生かし、現地の人たちと共に考え、現地の自立と誇りを
支えることによる、持続可能な開発と環境保護

活動内容

現地の知恵と技術を生か
した開発と環境保護の実例収集

アフリカ・カメルーン国でのワーク・ショップ



チャド、中国内モンゴル砂漠化防止、
インドネシア伝統音楽の観光資源化、
ガーナの教育に果たす伝統首長の役割
カメルーン漁民、牧畜民、伝統首長、
女性組織の活動
マリ世界遺産都市の自主管理、など



村人とのワークショップ

王様と語る

車がまっすぐ走れない
舗装道路

この汚れをいかにせん

女たちに仕事を
与える工芸

レイ・プーバへの道

展望

地方中心の開発援助による首都周辺と地方との格差是正
自治的住民組織の支援、開発主体としての認知

伝統文化・技術の保護育成、職業訓練機能を備え
観光資源となり、住民の誇りと自立心を育成し
「美しい村」づくりと環境保護に波及効果がある
新コンセプトでの博物館建設の援助



ムスグンの泥の家



ブスの王宮



マルアの工芸センター



首都圏から孤立した北カメルーン

舗装道路

レストラン

伝統文化を活用した「美しい村」作りが始まっている!!

